財職資料 衆議院議員 東京 | 区(千代田区・港区・新宿区)
自由民主党東京都第一選挙区支部長

# 山田みき

### 環境副大臣就能で報告

### 活動ニュース 臨時号

皆様の温かい応援のおかげで、このたび環境副大臣を務めることになりました。カーボンニュートラル、GX(グリーントランスフォーメーション)と言われます。地球環境を守る対策は急務であり、自治体と国との連携はもちろん、企業経営においても国際競争の中で環境対応が死活的な要素になりつつあります。日本の将来を左右するテーマに全力で取り組みます。引き続きのご指導ご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。

#### 5/17 衆議院財務金融委員会で、防衛予算の大幅な拡充を財務大臣に要請

#### <山田からの質問>

防衛費も他の予算と同じ財政制約の下にあるとするならば、他の予算を削減しない限り防衛費を増やすことはできない。防衛費は命を守る予算であり、社会保障費と同様に、財務省が予め上限を設ける概算要求基準(シーリング)の枠外とすべき。次期中期防衛力整備計画の期間(2023~2027年)はプライマリーバランス黒字化目標の年限である2025年と重なるが、防衛費の拡充は財政健全化目標の枠内でしか行えないのか。財政運営に規律は必要だが、財政規律を最優先にしてしまうと様々な弊害が生じる。国防は国の存続、日本人の命に関わる問題である。国家あっての財政であり、財政あっての国家ではない。

<鈴木財務大臣の答弁> ※ 防衛費に関する財務省の見解は、露のウクライナ侵攻後これが最初 真に実効的な防衛体制を着実に構築していくことは急務。その上で安全保障の観点 から、経済、金融、財政の脆弱性を高めるようなマクロ経済運営はすべきでない。 財政面については、実効的な防衛体制の強化を裏付ける予算を確保するのみならず、 有事に十分に耐えられる財政基盤を備えることも不可欠。



### 6/8 わが国の人権外交のあり方に関する提言 岸田総理への申入れ

我が国の人権外交に関する自民党のプロジェクトチームに、 私も法務部会長として、ウクライナ避難民受入れや人権擁護 などのために参画しています。5月には**ウクライナ避難民**の 方々の**一時滞在施設を訪問**してご要望を伺いました。

①避難民受け入れ態勢の強化、②日本企業が意図せずに海外 の人権侵害に加担することがないような対策の強化、などを 柱とする提言をとりまとめ、岸田総理に申入れを行いました。

安倍元総理のご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈り申し上げます。 総理ご在職中はいつも、衆院選の最終日に秋葉原で応援くださいました。 昨年の暮れ、私と同世代のビジネスマンの方々数名と意見交換の機会を 設けてくださいました。「山田さんは、政治家の家に生まれた私とは違い、 本当に何もないところから挑戦した人。厳しい選挙区で4回もよく生き 残ってきた。どうかこれからも山田さんを応援してやってください。」と おっしゃってくださったのが本当に有り難かったのを思い出します。 安倍先生にご心配をおかけしないよう、努力を重ねていきたいと思います。 どうか安らかにお眠りください。





月に数回、 更新しています。 お時間ある時に、 ぜひご覧ください



## \*議院議員 山田美樹 ホームページ

# 活動プログより

#### サステナブルファッション提言 岸田総理大臣に申入れ

私が座長を務める自民党サステナブルファッション・プロジェクトチームで提言を取りまとめ、環境・温暖化対策調査会の提言とともに、岸田総理大臣に申入れを行いました。かつては「大量生産・大量廃棄」と言われたアパレル業界ですが、既に海外ではファッション分野の環境負荷の低減に向けた動きが加速しており、日本の繊維産業もこうした世界的潮流に対応できるよう取組を進めます。(ファッション業界紙『日本繊研新聞』、『WWD JAPAN』等でも取り上げていただきました。)



#### 自民党女性局いどばたキャラバン in 宮城県多賀城市

自民党宮城県支部連合会女性局の企画で宮城県多賀城市に出張しました。 **地域共生社会(暮らしのセーフティーネット)**について講演した後、多賀 城市の皆々様と意見交換を行いました。

国会議事堂も自民党本部も地元の選挙区内にあるため普段はほとんど選挙区外に出る機会がない私にとって、地方の実情について直接お話を伺い、同時に自分の暮らす都心の地域を客観的な視点で見つめ直すことができたことは大変有り難く、非常に貴重な機会となりました。

#### 家族法制のあり方について、古川法務大臣に申入れ

自民党法務部会の『**家族法制のあり方検討プロジェクトチーム**』で提言を とりまとめ、古川法務大臣に申し入れました。

父母の離婚後の子の養育については、子の最善の利益を確保するために、 子を真ん中に置いて議論をすべき、という考えに立った上で、原則として、 離婚後の父母がそれぞれ、引き続き、子に対して親としての責務を果たす ため、離婚後共同親権(監護権を含む)制度を導入するよう提案しました。





#### 東京赤坂ロータリークラブで参院選後の政策課題を講演

参院選後の争点として、物価高への対応、電力安定供給、予算・税制などがありますが、私自身が現在、自民党の法務部会長を務めるなかで大きな課題だと捉えているのが、**入国管理法の改正と外国人労働者問題**です。 少子高齢化による日本の労働力不足は深刻ですが、外国人労働者のさらなる拡大は、これまで「移民は認めない」としてきた国の政策とどこまで整合性を保てるのか。都心では既に多くの外国人住民を抱えており、自治体の先進的な取組を国の政策に反映していくことが期待されます。

コロナ感染状況が収まり次第、講演会やミニ集会、国会議事堂などの見学会を再開いたします。お気軽にお声掛けください。

#### ■山田みきプロフィール

1974年3月15日東京都生まれ。東京大学法学部卒、コロンビア大学経営学修士(MBA)。 通商産業省、内閣官房を経て、ボストンコンサルティンググループ、エルメスジャポンに勤務。 第46回衆議院議員総選挙で東京1区(千代田区・港区・新宿区)から初当選。 第三次安倍改造内閣にて外務大臣政務官を務める。現在、当選4回。自民党法務部会長。 衆議院 法務委員会理事、財務金融委員会、政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会。

#### ■山田美樹 国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館917号

TEL: 03-3508-7037 FAX: 03-3508-3837

#### 山田みきさんの活動はホームページやSNSで発信中!









ΗD

Facebool

Instagram

発行日:令和4年8月14日 編集発行:自由民主党東京都第一選挙区支部 頒布責任者:中島貴彦 印刷者:東京カラー印刷 東京都足立区千住関屋町5-27